

社会司牧通信



202601

★印はカトリック関連

平和の使徒推進本部 正義と平和推進デスクでは、教会が社会へ発信しているメッセージや社会の中で活動する団体の情報をお知らせします。社会へのチャレンジの第一歩として、積極的にご参加ください。

主のご降誕おめでとうございます。今年もよろしくお願いします。



★2025年12月25日、新教皇レオ十四世、降誕祭メッセージ（ローマと全世界へ）

教皇レオ十四世の初めての降誕祭のメッセージ。「主の誕生は平和の誕生である」

★2026年「世界平和の日」教皇メッセージ（2026.1.1）

あなたがたに平和があるようにー「武器のない平和、武器を取り除く平和」に向けて



★使徒的勧告 わたしはあなたを愛している——貧しい人々への愛について 1月9日発売



教皇フランシスコが準備し、レオ十四世が完成させた使徒的勧告。「貧しい人の優先的選択」についての神学的根拠を聖書に探り、教父たちがそれをどのように実践したかを示すとともに、公会議や歴代教皇、ラテンアメリカの司教会議などの諸文書を踏まえ、現代のキリスト信者がいかにあるべきかを考察する。

【原文の発表年月日】2025年10月4日

●2026年第40回外国人住民基本法の制定を求める全国キリスト者集会 - GAIKI-KYO



◆主題：排外主義にNO！ 共に生きる社会にYES！

日時：2026年1月23日（金）18:30~20:30

会場：早稲田奉仕園リパティホール（東京都新宿区西早稲田 2-3-1）

参加費●無料 *会場献金をお願いします

主 催●外国人住民基本法の制定を求める全国キリスト教連絡協議会（外キ協）

主 管●外国人住民基本法の制定を求める関東キリスト者連絡会（関東外キ連）

オンライン配信あり → お申し込み先：<https://forms.gle/r9wgstfsgnTi8axUA>



●難民いのち基金 - GAIKI-KYO



3年プロジェクト第2期：2025年10月~2026年9月

仮放免中、難民申請中、在留資格のない子どもを対象に、一人3万円を支援します。 ご協力をお願いします。

・夏にお願いした国会請願書（2025年）の提出締め切りは1/10になります。

[（署名用紙）「外国人住民基本法」と「人種差別撤廃基本法」の制定を求める国会請願書 - GAIKI-KYO](#)

●長生炭鉱水没事故 84 周年犠牲者追悼集会

【追悼式】日時：2026年2月7日(土)10:30~12:00

場所：追悼ひろば（宇部市床波1丁目3271番 床波漁港前）

*詳細は刻む会のホームページをご覧ください。

[長生炭鉱の水非常を歴史に刻む会 - chouseitankou](#)

◆12/28 ミサ献金ご協力ありがとうございました。



長生炭鉱水没事故 84 周年 犠牲者追悼集会

2026年2月7日(土)

参加費は無料ですが、カンパをお願いします！

〇追悼式 10:30~12:30 追悼ひろば
（宇部市床波1丁目3271番 床波漁港前）
・遺族の皆様による追悼行事
・世界のダイバー紹介
・日韓青少年による若者アピール など
〇潜水・遺骨収容 海岸出発 13:00~

追悼のタイパ

Paulo Komatsu
ハラス・コササキト
（ブラジル）

Samuel Komatsu
サミュエル・コササキト
（ブラジル）

Wataru Pao
ワタル・パウ
（フィリピン）

Junpei Komatsu
ジュンペイ・コササキト
（日本）

Kenji Pao
ケンジ・パウ
（フィリピン）

【主催】一般社団法人長生炭鉱の水非常を歴史に刻む会 代表理事 岸上孝子
【お問い合わせ先】 090-4803-5319（岸上） [Mail] chouseitankou@gmail.com
※詳細はホームページをご覧ください！ <https://www.chouseitankou.com/>



『マコはハルモニア・ムンディにのって踊る』 (8) あ、私は土だ！

ロクスひよりやま キャプテン 中井 淳 SJ
(旧下関労働教育センター イエズス会神父)

「エコロジーって難しい話じゃなくて、私たちが身近でできることについて教えてくれる話だったらいいなあと思う。それでね、マコちゃん、私は家でコンポストを作ってるんだけど。料理をすることも、そしてそこから出た生ゴミ、生ゴミとは別な呼び方があったら素敵なんだけど。とにかくそれでコンポストを作ることが私にとってはいのりなのよね。」ある教会に呼ばれて、瀬川神父さんの代理でエコロジーの話をした時に、ある信者さんに言われた言葉である。コンポストを作ることが自分にとっての祈りなのよ、っていうのは素敵だなあとマコは思った。

マコもなるべく生ゴミを捨てないようにつとめるようになった。マコが住み込んでいる西の街の平和センターの敷地には生ゴミを土に埋めるスペースがある。マコがこのことの大切さを知ったのは、『地球再生型生活記』という本を読んだことが一つの刺激になった。そこで書かれていたのは、人間がこの地球に何かしらの善を返すことができる生き方があるのだとしたら、それはどれだけ土を増やしていけるかということだ、ということだった。いのちを循環させることができれば、土は増えていく。そのような生き方ができるか。

土に対する特別な感情が芽生え始めた時に栃木の那須塩原にあるアジア学院を訪問した。アジア学院は、キリスト教の精神に基づいて建てられた農村学校だ。世界中の地域共同体から派遣された人たちがそこで農業、共同体生活、リーダーシップを学んで、それぞれの地域のリーダーとなっていく。そこで今ボランティアとして活動をしているサクラさんがマコを呼んでくれたのだ。サクラさんは以前、西の街の近くに住んでいて、その頃からマコはサクラさんを姉のように慕っていた。サクラさんは仲間たちと収穫した大根を片手に、アジア学院の広大な敷地を案内してくれた。二人で大自然の中を歩きながらいろんなことを話した。そして、いつまでもマコの心に残るだろうことを言ってくれた。

私はさ、都会で生まれ育ってさ、土を触ってことは人生の中でほとんどしてこなかったんだよね。でも、ここに移ってきてからさ、とにかく毎日畑を耕したり、野菜を植えたりして、毎日毎日土に触るんだよね。ある時、祈りのセッションがあって、「あなたを何かのイメージでたとえると何ですか？」という問いかけがあったの。昔だったら、風、とかそんなふうに答えていたかもしれない。でも、その時、自然に、「あ、私は土だ」って思ったのよね。土ってさ、すべてのくちてゆくいのちを全部あるがままに受けとめて新しい命へと変えていくんだよね。



サクラさんは、土と向き合う生活の中で自分のスピリチュアリティの形が変わっていったという話をしてくれた。聖書にもそういえば、人間は土から作られた、と書いてある。Humanの語源もラテン語のHumusから来るんだ。そしてHumusとは腐食土、とか土壌っていった意味だ。いのちを育てていく存在。ああ、いいなあ、とマコは思った。

さて、西の街にて。生ゴミの素敵な呼び方はないかな？そんなことを思いながら、生ゴミを埋めようと、土を掘り返すと、以前の生ゴミが立派な堆肥になっていた。畑に運んで土に混ぜるために、さらに掘り返していると、中からじゃがいもが出てきた。生ゴミの中から生まれたジャガイモだ！ボランティアのチエさんに見せると、「あら、かわいいじゃない。水に入れて、ヨセフさんのところに置こうか。」もう少しでクリスマス。馬小屋で生まれたイエスさまを思いながら、ジャガイモを、願いごとを叶えてくれる“眠るヨセフ像”の傍に置いてみた。

(つづく)

「ラウダート・シ」プロジェクト in 周防大島での活動報告をホームページに載せています。

[「ラウダート・シ」デスク-カトリック広島司教区「平和の使徒推進本部」](#)

来年度も企画しますので、お楽しみに！

★カトリック広島教区 ハラスメント相談窓口：広島教区人権擁護デスク★

受付時間 木曜日（祝日を除く）9:00～16:00 電話番号 082-555-1127

メール：desk-hiroshima@catholic.hiroshima.jp

H・Social* *H・Social* *H・Social* *H・Social* *H・Social* *H・Social

発行 カトリック広島教区 平和の使徒推進本部 正義と平和推進デスク

TEL：082-221-6613 FAX：082-221-6019 E-Mail info@social-desk.net

